



オレ・オラスタジアム

2018 9月号



発行：FCムサシ
http://ole-musashi.com/
パス：musashi634

くんへ

コーチより



2 学期スタート！ 夏休み気分を切り替えよう！

今年梅雨明けが早く、猛暑日連続の夏でしたね。ようやく秋の気配が感じられてきたものの、まだ暑い日も多く、夏の疲れもあって体調を崩しやすい季節です。体調管理をしっかりして、学校もサッカーも充実した時間にいきましょう。

ムサシの約束を確認して元気にスタートを切ろう！

ムサシの約束 ～家で～

○練習の後や外から帰った時は手洗い、うがいを忘れずに。
調子が悪い場合は、無理をせずに休むなど、家庭での体調管理をお願いします。

○つばさを再度確認してください

ムサシの約束 ～練習時～

○水分の取り方を工夫しよう。
汗をかくと水分と一緒に塩分も失われてしまいます。スポーツリンクなどで水分と同時に塩分も補給し、熱中症を予防しよう。

○着がえを忘れずに。

ムサシの約束 ～その他～

○持ち物には名前を書こう。
○ボールは袋やバッグに入れて持ち歩こう。
○自転車には、必ず鍵をつけよう。

★お願い★ 住所が変わった方は、事務所までご連絡ください。

フランスの優勝で幕を閉じたロシアワールドカップ。クロアチア、ロシアの躍進。日本の奮闘。ニュースターの活躍。VAR 導入。など様々な話題のあふれる大会となりました。

戦術面では、クラブチームとは異なり時間が限られている中行わなければならないナショナルチーム。非常に難しく監督も頭を悩ませると思います。サイドに追い込みボールを取る。GK がボールをキャッチしたら FW はすぐに前へ走る。などこれらはチームでいかに共通認識を持ち、戦えるかがポイントになります。その中でも勝利を重ねたチームに感じたのは「結束力」の高さ。短い期間ではあるが志をひとつにし、チームとしてまとまることの大切さを感じました。特に日本は大会の始まる3か月前に監督交代。ベスト16に行けたのは間違いなく結束していたからです。

ムサシの練習でも一緒です。仲間と協力しないとできないことはたくさんあります。ゴールの準備や試合の準備。お互いに助け合えるよう結束して日頃の練習に取り組みましょう。その為には、まずは自分・自分たちでどのようにすれば上手いのか考えて行動してみる。それでも分からなければ友達やコーチに聞いてみるのが大切です。様々なことにチャレンジしてレベルアップしていきましょう。

コーチ達が見たロシアW杯

「個人よりチーム」

今回のワールドカップではスター選手の個人技などの能力より、チームでの戦術や監督の采配が上回る大会になったと感じました！前回大会優勝のドイツをはじめ、スペイン、アルゼンチン、ブラジルなど今大会優勝候補が次々と敗れていきました。日本には世界を代表する選手はいませんが、チームで戦う、組織として戦った結果がベスト16に繋がったと思います！今後の大会でもそういったチーム、国が勝ち上がるのかもしれないですね。
日本の強みであるチームプレーをさらに強めていけば、4年後はもっと面白くなるかもしれませんね！今後の日本代表に注目です！



コーチ赤地涼平

「若手の台頭と世代交代」

今回のW杯は若手の活躍が目立ち、革新的な大会になったと思います。今まで圧倒的知名度を誇る選手であったロナウド、メッシ、ネイマールは影を潜め、若手選手の多いフランスが優勝。日本代表でも柴崎や昌子など新しい選手が活躍しました。4年に1度行われる分、選手の成長やチームとしての変化がとても重要で、現状維持では対策をとられ優位に試合を進められずに敗退するチームもありました。(ドイツ、スペイン等)日本代表もこの4年間で世代交代が必要です。注目すべきは久保建英、中井卓大、堂安律。天才級の選手たちが世界で活躍する兆しを見えています。彼らの今後に目が離せません。



コーチ福永航也

「VAR」

ロシアワールドカップで初めてVAR(ビデオアシスタントレフリー)が導入され、得点・勝敗に影響していました。ブラジルのネイマールは、1度はPKを獲得したもののVARにより演技との判定に覆りPK取り消しに。また、VARによってノーファウルの判定が覆ることも多く、ワールドカップのPK回数の記録が更新されました。DFからしてみれば、ファウルを恐れるあまり激しいコンタクトを避け、プレーしづらそうでした。今後の大会でもVARが導入されれば勝敗に影響することは間違いなし！



コーチ宮内将武

「フランスの強さ」

フランス代表は、予選リーグこそ、辛くも勝利したという形でしたが、若いからこそ試合をしていく毎にチームとしても完成度がどんどん上がって行っていました。攻めのエムバペ、グリーズマンに注目が集まっていますが、フランスの強さはジルー、ポグバ、カンテ、マテューディの4人の献身的な動きだと思います。この4人が味方のために走ることで前のエムバペ、グリーズマンが攻めだけに集中出来ていました。ここがワールドカップで優勝出来たポイントだと思います！



コーチ角田飛鳥

ムサシTOTO結果発表！

応募総数292名。優勝予想ダントツはブラジルの122名、次いでスペインが61名、そして3番目に多かったのがフランス！

ズバリフランスの優勝を当てたのは33名！予想以上の的中率にコーチ達もびっくりでした。

秋からのイベント

9～10月 タイムトライアル

1年に1度のタイム計測の日！
小学生は9月、幼児は10月に実施します。
自分の目標を設定して準備しよう！



10月 にこここキャンプ！

年中、年長、1年生、2年生のみんな！今度はみんなの番！仲間と一緒に出かけよう！広いグラウンドでサッカーしよう！

※詳しくは、配布中のチラシをご覧ください

10月下旬 ハロウィン！

お楽しみのハロウィントレーニング！
仮装も大歓迎！もちろん、お菓子もあるよ。



サッカーキャンプ菅平2018



猛暑の横浜を離れ、涼しい菅平へ。のはずでしたが、菅平も例年とは違う暑さ。それでも、大自然に囲まれた芝生のグラウンドは特別。休憩や給水など熱中症対策を行いながら、三日間集中してサッカーに向かいあいました。サッカーはもちろん、宿舎でのミーティング、バーベキュー、お楽しみ会、など仲間との共同生活を通して、それぞれが何かをつかんで成長したと感じています。

キャンプから戻り、各会場の練習に菅平でのフィードバックトレーニングも取り入れています。キャンプに参加した子にミーティングの内容を話してもらったり、実際にプレーのデモをやってもらったりしながら、参加しなかった子どもたちとキャンプの練習を共有できるようにしています。

キャンプでつかんだことを活かし、行けなかった子たちも巻き込んで、一緒に、良い練習をしていきましょう。

10月には、年中～2年生対象の日帰りこここキャンプがあります。お兄さん達に負けずに、たくさんチャレンジして1日楽しみましょう！



HPでサッカーキャンプの様子をご覧ください→



ムサシコーチの 日本のカンボジア国内 NO.1 を決める大会、「フンセンカンボジア便り」

に出場し優勝することができました。大会途中でキャプテンが骨折し試合に出場できなくなってしまったのですが、決勝では選手達一人一人が献身的に動き、コレクティブなサッカー(組織的に運動したプレー)を展開しました。また、今大会に向け選手達のウィークポイントであるヘディングを強化し続けてきた結果、決勝戦ではヘディングでのゴールで優勝を決めました。長所を伸ばすことも重要ですが、短所に目を向け努力すること、日々の練習を積み重ねることで、自信や成果を手にすることが出来ることを改めて感じました。この成功体験は、彼らが次の階段を上がっていくためのメンタリティを持つことにつながったと思っています。

